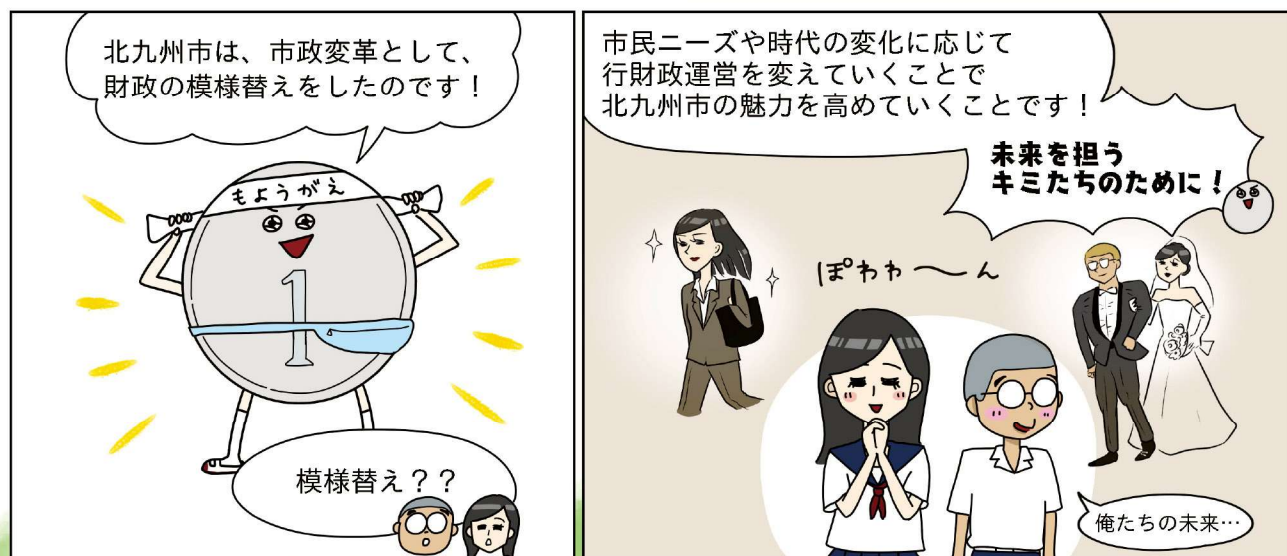
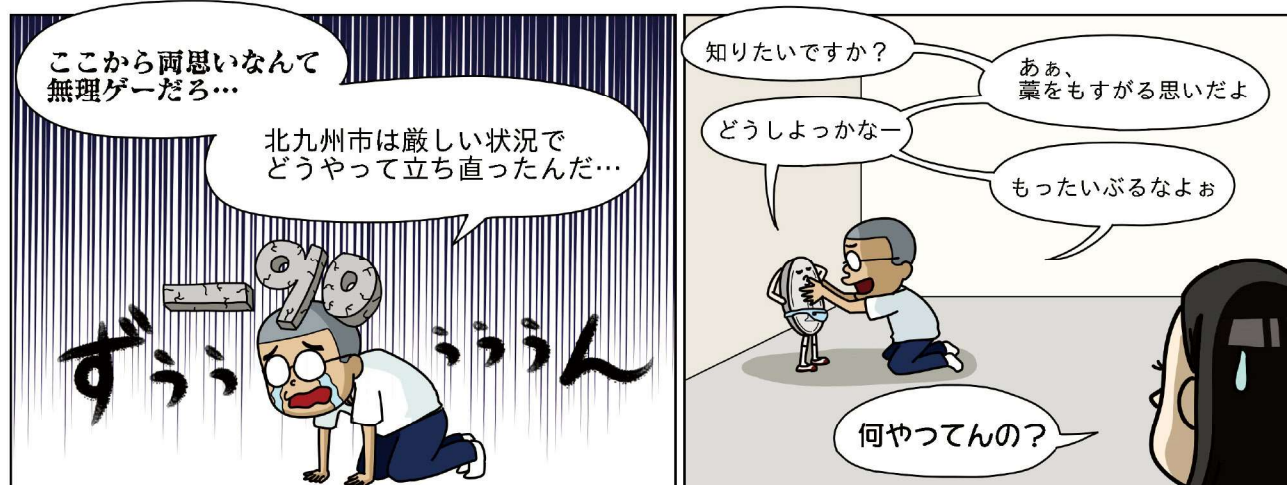


取組① 市政変革



このままでは医療・福祉の膨張圧力、公共施設やインフラの維持などの課題が増加し、市債も増える一方です

改革スタート!

そこで、北九州市は「削る改革」ではなく、「創る改革」に取り組んでいるのです!

短中期

財政の模様替え

次世代投資枠の確保!!

- 若者や子どもへの投資
- 産業基盤の強化、創出
- 公共施設の老朽化対策 など...

中長期

市債発行の抑制

持続可能な
経済状況の確保!!



実際に、市政変革で成果って出てるの?

よくぞ聞いてくれました!!

①ユーザー目線による現場改善

案内文やレイアウトの見直し

5時閉館
ご協力を
お願いします

5時閉館
ごゆっくり
ご覧ください

②おいしい給食大作戦(次世代投資枠)

専門家 &
スチーム
コンベクション
オープン

お好み焼き

③働きやすい職場づくり

週休3日制が可能な
フレックス制を全面試行
&
公務効率アップのため
軽装勤務の実施

救急隊員出動時の
コンビニ利用ルールの
明確化

救急隊員
店舗利用中

本庁女性用トイレの
増設予算の計上



など

④公共施設マネジメント

「減らす」だけではなく
新たな価値の創出

建替

複合化

民間譲渡

など...

⑤持続可能な公民連携体制

これまでの「管理型」の関係性から
「政策連携団体」を公民連携の
パートナーとして位置付け直し、
各団体の持つポテンシャルを
最大限に生かす

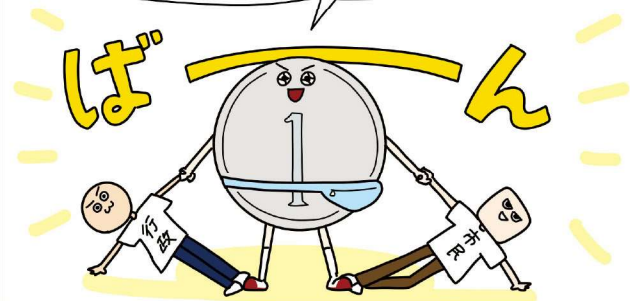
連携!!



→より良い市民サービスの提供へ



行政だけが頑張るのではなく、
市民や民間企業と連携することで
北九州市民に寄り添った政策になっているのです



私たちの未来に関わることだから、
“自分ごと化”しないとな

自分たちの税金も
使われているしね





市政変革の取組

北九州市政変革推進プランの策定

次世代への投資等を行いつつ、行財政運営のあり方を再構築する「市政変革」の取り組みを進めるにあたり、市政変革の基本原則、見直しの視点、目標値、具体的な取組項目等を定めた計画を策定しました。

各局区による改革案磨き上げの場 X会議



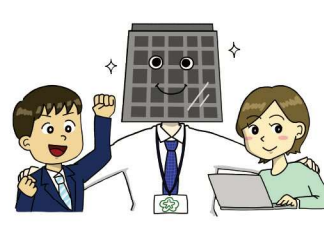
局区X方針

局・区長が、経営者目線で変革すべき課題とその取組方針を定め、そのリーダーシップの下に変革の取り組みを進めました。



経営分析・事業分析

施策・事業等のまとまりごとに、客観的なデータや他都市事例等を踏まえて現状分析や課題の洗い出しを行い、変革の方向性を検討しました。



プラチナ市役所プロジェクト

職員発のアイデアを生かし、“働きやすさ”と“働きがい”の実現を図ることにより、市民サービスや市役所全体の労働生産性の向上に取り組みました。

令和6年度市政変革の成果

・ユーザー目線による現場改善

自然史・歴史博物館

来館者への寄り添いが不十分な看板のご案内の表現方法を改善



美術館

エントランスホールのイーゼルを撤去し、ホールの景観を向上させた



・おいしい給食大作戦(次世代投資枠)

学校給食応援団の発足

料理人の方等から専門的な助言やメニューに関するご提案をいただく



スチームコンベクションオーブンの導入

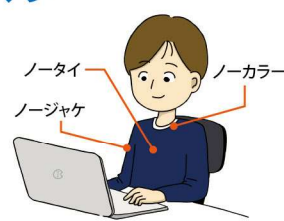
「煮る」「炒める」に加え「蒸す」「焼く」といった調理が可能、献立の幅が広がる



・働きやすい職場づくり



政令市初!
週休3日制が可能なフレックスタイム制を全面試行



公務効率アップのため1年を通じた軽装勤務の実施

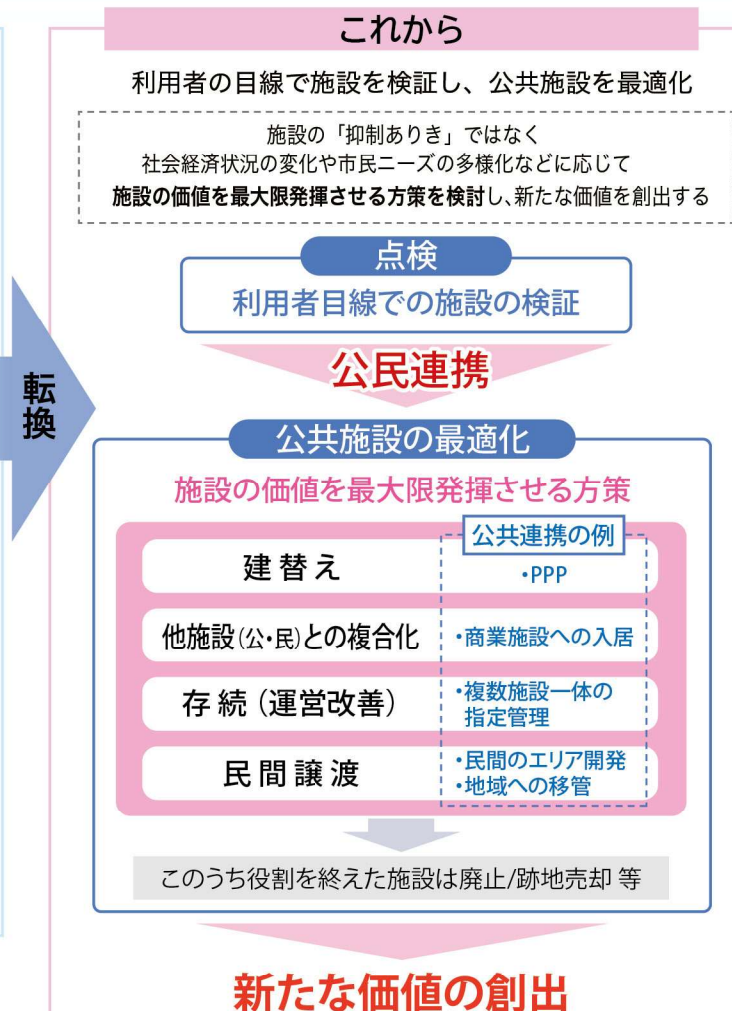
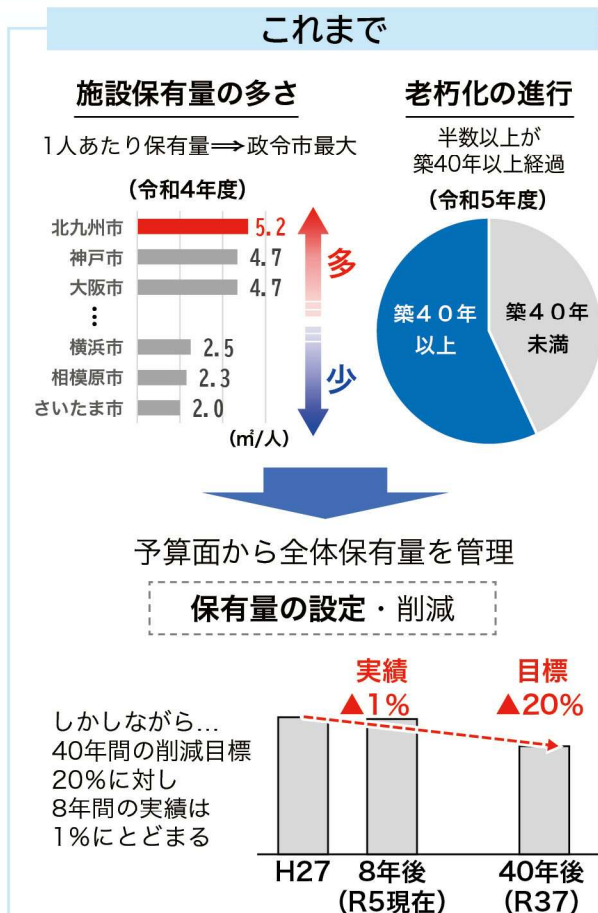


救急隊員出動時のコンビニ利用に関するルールの明確化



個室2個から4個へ改修
本庁舎女性用トイレ増設予算の計上

公共施設マネジメント



政策連携団体

現状
財政・変革局による、
管理型の総合調整を行う
「外郭団体」

見直し後
政策を担う「担当局」と
公民連携パートナーとなる
「政策連携団体」

・持続可能な公民連携体制

政策連携団体を「管理団体」から、市の政策の一翼を担う「公民連携の重要なパートナー」として位置付け直し、各団体の持つポテンシャルを最大限に生かしながら、より良い市民サービスの提供を目指します。

